



# 横浜市 ベイバイク

- 実施主体を市、運営主体をNTTドコモとする協働による実施
- 採算性を確保し、民間主体での本格実施を目指した3年間の社会実験
- 役割分担 市:ポート土地の確保、広報、効果検証  
ドコモ:施設整備、運営

## 【実施概要】

実施期間	期間	H23.4.25～H26.3.31		
施設規模	運営時間	8:00～21:30		
規模	自転車台数	300台(稼働約150台)		
	ポート数	21箇所		
料金体系	登録料	登録料:315円(おサイフケータイ)、1,050円(専用ICカード) <平成24年3月末まで登録料無料> 利用料金(基本料+利用料)		
		<b>基本料</b>	<b>利用料</b>	<b>予約</b>
	月額会員プレミアム	1,575円/月	最初の30分 0円 超過30分毎 210円	ご利用の30分前から予約可
	月額会員	1,050円/月		-
	1回会員	105円/回		-
初期登録	登録方法	携帯電話、パソコンによる登録		
	登録場所	有人カウンター、ポート(携帯電話利用)、WEBページ		
管理	管理方法	遠隔管理		
	貸出・返却の管理	ポートにおサイフケータイまたは専用ICカードをかざす		
	集中管理	ポートから自動でデータ送信		
	個人認証媒体	おサイフケータイまたは専用ICカード		
	料金收受	クレジットカード		
機器	自転車車両	・新車(ブリヂストン ベガス) ・小径車20インチ、内装3段式変速		
	ラック	電磁ロック		

## 【利用実績】(H23.12.31現在)

登録者数	4,253名
延べ利用回数	30,517回
1日平均利用回数	122回/日
回転率	1回程度/台・日

## 【目的】

- 想定したターゲット:観光/業務/私事/通勤等
- 横浜都心部での回遊性の向上、観光振興を目指すとともに、脱温暖化に向けた取組として実施。
- 採算性を確保し、民間主体での本格実施を目指している。

## 【評価】

- 社会実験の中で、コミュニティサイクルの交通機関としての役割や採算性について検証を行う。(現在、実施中)
- ポートは30か所程度まで拡大を目指す。

担当 : 横浜市都市整備局都市交通課 石原、棧敷  
連絡先: 045-671-3512  
運営事業者: 株式会社NTTドコモ



サイクルポート



サイクルポート(内側)



専用自転車



専用ICカード

横浜コミュニティサイクル

baybike



# 広島市

## ひろしまコミュニティサイクル社会実験 「のりんさいくるHIROSHIMA」

○ICTを活用した無人管理型システム  
○社会実験期間が長期間(2年間)であるメリットを生かし、各種利用改善を適宜実施しながら検証

### 【実施概要】

実施期間	期間	平成23年3月13日～平成25年3月(予定) 約2年間																			
	運営時間	早朝5時～深夜25時(返却は24時間)																			
施設規模	自転車台数	150台																			
	ポート数	11箇所																			
料金体系																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">料金プラン</th> </tr> <tr> <th>マンタリーパス</th> <th>スリーデイズ</th> <th>ワンタイムパス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本料金</td> <td>1,000円/月</td> <td>500円/3日間</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td>無料</td> <td>無料</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>返却料</td> <td colspan="3">100円</td> </tr> </tbody> </table>				料金プラン			マンタリーパス	スリーデイズ	ワンタイムパス	基本料金	1,000円/月	500円/3日間	無料	利用料	無料	無料	100円	返却料	100円		
	料金プラン																				
	マンタリーパス	スリーデイズ	ワンタイムパス																		
基本料金	1,000円/月	500円/3日間	無料																		
利用料	無料	無料	100円																		
返却料	100円																				
初期登録	登録方法	申込書記入(ICカードは交通系ICカードなど利用可能)																			
	登録場所	Web、窓口、会員登録機																			
管理	管理方法	遠隔管理																			
	貸出・返却の管理	ICカード																			
	集中管理	自動データ送信																			
	個人認証媒体	ICカード																			
	料金收受	クレジットカード																			
機器	自転車車両	・小径車・新車(パナソニック) ・20インチ、6段変速有																			
	ラック	平置き																			
	その他	会員登録機(無人)2か所																			

### 【目的】

○想定したターゲット: 観光/業務/私事/通勤等  
○実施の目的や背景等: 自転車の共同利用による利便性向上や観光客への使いやすい移動手段の提供、都心の回遊性向上などの観点からコミュニティサイクルの本格導入に向け、その可能性を検証する。

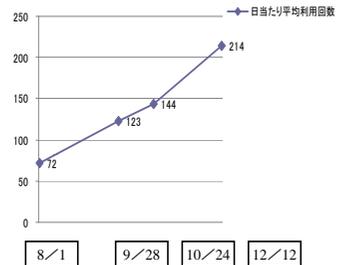
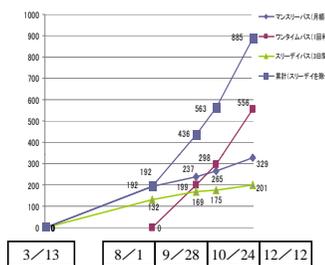
### 【利用実績】(H23. 12. 12現在)

登録者数	885名
延べ利用回数	31,730回
1日平均利用回数	115回/日
回転率	0.77回/台・日
平均利用時間	19.7分/回

### 【評価】

○料金改定やサイクルポートの増設などで登録利用者数及び利用回数は順調に伸びている。  
○利用状況として、通勤、通学利用が主となっているため、今後はいかに観光や昼間の業務等の利用を増やし、回転率を向上させるかが本格導入に向けてのポイントになると考えています。

担当 : 広島市道路交通局道路部道路計画課  
連絡先: 082-504-2365  
運営事業者: 日本コンピュータ・ダイナミクス(株)





# 札幌市 サイクルシェアリングサービス

## 札幌みんなのサイクル ポロクル(Porocle)

- ・サイクルシェアリングサービスを民間で事業化。
- ・”まちが抱える問題”を解決するまちづくりツールとして展開。
- ・独自に開発したシステムを改良しながら、持続可能なコミュニティサイクルを目指す。

### 【実施概要】

実施期間	期間	4/20(水)~11/20(日) 計215日間
期間	運営時間	7:30~21:00
施設規模	自転車台数	212台
	ポート数	40箇所
料金体系	登録料	525円、カード代:1050円(送料:420円)
	利用料金	1ヶ月 基本:1050円/月、延長(利用):105円/30分 1回 利用:105円/30分
初期登録	登録方法	PCおよびモバイルWeb登録(ポートでのおサイフケータイ登録可)、登録所登録※会員情報およびクレジットカード入力
	登録場所	Web/ポート/登録所等
管理	管理方法	管理サーバーによる遠隔集中管理 ※データ自動送信
	貸出・返却の管理	セルフサービス(ICカード認証)/サーバーによる自転車管理
	個人認証媒体	専用ICカード/おサイフケータイ/SAPICA(交通カード)
	料金收受	クレジットカード/請求書(法人)
機器	自転車車両	・オリジナルシティサイクル(南雲勝志氏デザイン、武田産業(株)製作) ・26インチ、3段変速、自動点灯ライト
	ラック	平置き/電磁ロック
	その他	無線通信/ソーラーパネル

### 【利用実績】

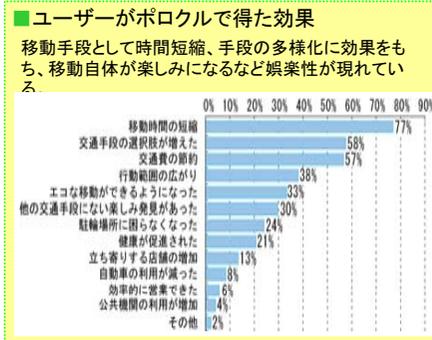
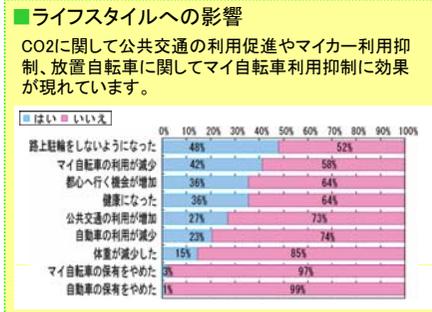
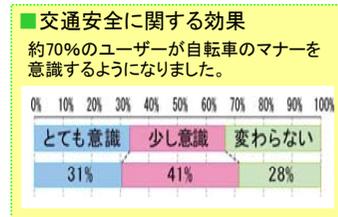
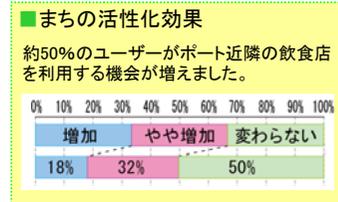
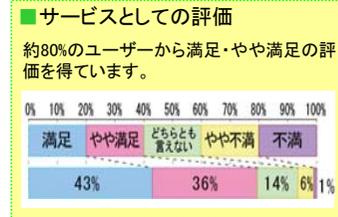
登録者数	一般2,956件、法人190件(110社)
延べ利用回数	45,781回
1日平均利用回数	213回/日(最大602回/日)
回転率	1.6回/台・日(最大3.1回/台)
平均利用時間	18分/回

### 【目的】

○ターゲット:市民(通勤・私事)、法人(主に業務)、観光客。  
○実施目的:民間が担う新たな公共的なサービスとして事業展開。欧州を参考に日本の風土にあったコミュニティサイクル構築を目指す。サービスの展開を通じて、CO2削減やにぎわいの創出、自転車問題などを解決するまちづくりツールとして機能する。

### 【評価】

○会員数は、目標5,000件に対して60%の達成状況。次年度は、法人向け・観光客向けにサービス・営業方針を見直す予定。  
○サービスは上々の評価を得ており、活性化、自転車問題に対する効果が徐々に具現化。今後も地域と一体となって新たな価値の創造を目指す。



サイクルポート(2011年開発)



自転車ルール遵守啓発活動



貸出の様子



運営の様子

### 【登録者と利用回数の推移】



連絡先:011-801-1523 担当:澤 充隆  
運営事業者:株式会社ドーコンモビリティデザイン

- 日本で最初のコミュニティサイクル本格実施
- 屋外広告を活用し、富山市に運営負担無し
- 市政情報パネルを設置(歩道側:地図or市政情報、車道側:広告)
- 全15箇所のポートは全て道路上に設置(1箇所公園内)

## 【実施概要】

実施期間	期間	2010年3月20日～ 651日(2011年12月末時点)
	運営時間	24時間365日
施設規模	自転車台数	150台(135台)
	ポート数	15箇所
料金体系	登録料:無料 基本料:定期パス500円/月 パスカ 700円/月 メンバーカード 7日パス1,000円 2日パス500円 1日パス300円 利用料:最初の30分無料 次の30分200円 以降30分毎に500円	
	初期登録	登録方法:必要情報記入後、会員カード及びID番号を発行 登録場所:Web、郵送、窓口、ホテル窓口
管理	管理方法	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	貸出・返却の管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	集中管理	専用ITシステム管理(無人/遠隔)
	個人認証媒体	ICカード、ID番号
機器	料金收受	クレジットカード、口座振替、現金
	自転車車両	・自社設計開発、専用自転車 ・26インチ、3段変速、前後LEDライト、鍵付き
	ラック	埋設基礎式、カードリーダー組込
	その他	ターミナル

## 【目的】

- 想定したターゲット  
市内中心部に来訪する全ての方が対象。
- 実施の目的や背景  
富山市は環境モデル都市として、「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」によるCO2排出量の大幅な削減を目指しており、特に過度な自動車利用の見直しが大きな焦点。交通網としての利便性を高めることにより、近距離の自動車利用の抑制を促し、二酸化炭素の排出量の削減を図るとともに、中心市街地の活性化や回遊性の強化を図ることを目的としています。

## 【利用実績】 2011年12月末時点

登録者数	1,534名
延べ利用回数	73,652回
1日平均利用回数	113回/日(通年) 129回/日(降雪期間を除く)
回転率	0.77回/台・日
平均利用時間	約8分/回

## 【評価】

- 利用者数とアンケート結果  
-2010年と比較して2011年は利用回数が約12%増加。  
-アンケート調査の結果  
・自動車(タクシー含む)からの転換が10% (CO2排出削減に貢献)  
・概ね80%の利用者がサービスに満足
- 今後の課題、展開予定等  
-ステーションの増設  
-サービスクオリティの維持

担当：富山市環境政策課  
連絡先：076 443 2051  
運営事業者：シクロシティ株式会社  
連絡先：03 5217 2510





# 柏市 【実証実験】 かしわスマートサイクル



☆自動車からの転換による温室効果ガスの低減を目的に、自転車利用促進事業の1つとして「かしわスマートサイクル」を導入するため、実証実験を実施

独自の  
取組み

- ☆お得な深夜料金制度！！ 夜9時～翌朝9時:上限200円
- ☆完全無人化によるポート運営！！
- ☆お助けボーナスポイント制度！！  
自転車が少ないポートへの登録 =  200 1ポイント=1円



【深夜利用の一例】

## 【実験概要】

実施期間	期間	H22/4/28(水) ～H24/3/31(土) 計704日間
	運営時間	5:00～24:00 ※返却は25:00まで
施設規模	自転車台数	50台
	ポート数	9箇所
料金体系	登録料	無料
	利用料金	100円/60分 ※夜9時～翌朝9時:上限200円
初期登録	登録方法	申込書に記入し、専用ICカードを発行
	登録場所	UDCK, 都市振興公社, 柏市役所 他2箇所
管理	管理方法	ポートは無人管理, 管理者は利用状況を専用サーバーで確認
	貸出・返却の管理	専用ICカードの認証 (個人認証も兼務)
	集中管理	サーバー管理
	料金收受	登録場所にて現金前払い
機器	自転車車両	①ミヤタ製 26インチ 外装6段 ②プリチストーン製 20インチ 内装3段 ③無印製 26インチ 内装3段
	ラック	①オートロック式 ②簡易式(利用者によるワイヤーロック)

運営主体: 柏市都市振興公社(TEL:04-7164-4141)

柏市土木部道路交通課(TEL:04-7167-1219)

## 【実験の目的】

想定したターゲット	通学, 通勤, 来訪者
実施の目的	①利便性の向上
	②利用者動向の把握
	③既存レンタサイクルとのすみ分け
	④長期実験によるシステムの有効性・安定性及び管理上の問題点の確認
	⑤事業化に向けた収支の検討

## 【利用実績】 23年12月31日現在

登録者数	690名
延べ利用回数	8000回
1日平均利用回数	13.1回/日
回転率	0.38回/台・日
平均利用時間	27分/回

## 【実験の評価】

- 利用形態は、柏の葉キャンパス駅と東京大学との利用が約9割を占め、柏の葉地域での回転率は0.67回/台・日
- 利用時間は、利用者の9割が30分未満
- 実験期間中、レンタサイクルの利用は低下していないため、利用形態の違いからレンタサイクルとの共存は可能
- 突発的な無線LANの接続不良、自転車返却時のラック不感知等の機器不良が発生
- さらなる利用率の向上と事業規模の拡大が必要

## 【今後の課題・展開】

- 利用性の向上(ポートの新設: 柏駅・柏市役所:10/3設置済, 十倉二工業団地等工場関係: 24年度設置予定)
- 法人等多頻度利用の会員の取り込み
- 登録・料金チャージ方法の改善
- ・現状の窓口決裁から、公共交通ICカードやクレジットカードを利用した決裁への転換
- ・定期利用の導入(例: 1000円/月程度, 最初の1時間無料)
- システム, ポート機器の信頼性の向上



↑柏市北部の自転車走行環境が良い地域を中心に駅、主要施設等に自転車ポートを配置



↑オートロックポート全体写真

↑ICカードリーダーと専用ICカード

↑オートロックポートのラック



↑簡易ポート全体写真

↑ICカードリーダー

↑各ポート間のトリップパターン

発出	UDCK	55ぽーと	東京大学環境棟	東京大学図書館	柏の葉公園	柏たなか駅	北柏駅	あけ塚の山(簡易)	流山市水溜野地(簡易)	流山セントラルパーク駅(簡易)	柏駅西口第六駐輪場	柏市役所分庁舎1	計
UDCK (オートロック)	576	15	3139	118	68	16	18	0	0	0	5	1	3956
55ぽーと (簡易ポート)	1	23	10	50	1	0	0	0	0	0	0	0	85
東京大学環境棟裏 (オートロック)	3080	10	336	1	10	3	3	0	0	0	1	0	3444
東京大学図書館前 (オートロック)	115	20	11	11	0	0	1	0	0	0	2	0	160
柏の葉公園 (オートロック)	68	0	15	1	65	0	3	0	0	0	0	0	150
柏たなか駅 (簡易ポート)	13	0	1	0	0	18	1	4	0	0	0	0	37
北柏駅 (簡易ポート)	0	0	3	0	0	3	21	1	0	0	1	1	30
あけ塚の山 (簡易ポート)	0	0	0	0	0	1	5	19	0	0	0	0	25
流山市水溜野地 (簡易ポート)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
流山セントラルパーク駅 (簡易ポート)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
柏駅西口第六駐輪場 (簡易ポート)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	38	48
柏市役所分庁舎1 (簡易ポート)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	22	55
合計	3854	68	3516	181	144	41	52	24	4	6	48	62	8000

↑各ポート間の利用回数(22年4月28日～23年12月31日)



# 岡山市【社会実験】

## 岡山市コミュニティサイクル

○「岡山市都市交通戦略」における戦略目標「都心内の回遊性向上」をめざし、晴れの国岡山にふさわしい自転車の活用を図る。  
 ○「自転車先進都市おかやま」(5つのコンセプト:①走る、②停める、③使う(借りる)、④楽しむ、⑤学ぶ)を目指した取組み。

### 【実施概要】

実施期間	期間	9/15(木)~3/15(木) 計183日間
	運営時間	24時間(一部ステーションを除く)
施設規模	自転車台数	100台
	ステーション数	7箇所
料金体系 (11月1日以降)		・1回(60分)100円(30分経過毎100円課金) ・1ヶ月1,000円(1回60分以内) ・1日利用:300円(11月1日新設)
	登録方法	携帯・PCから登録 現金利用(11/1~)は申込書記入
	登録場所	(現金のみ)各ステーション
管理	管理方法	無人(有人対応時間AM9:00~PM6:00)
	貸出・返却の管理	スタッフ用管理HP
	集中管理	コールセンターから一括
	個人認証媒体	専用のマイページ
機器	料金収受	クレジットカード(1日券のみ現金)
	自転車車両	・ドイツ製自転車 ・7段変速
	その他	ロックボックス付自転車

### 【目的】

○ターゲット:観光/業務/私事/通勤等  
 ○実施の目的や背景等:温暖な気候、平坦な地形を併せ持つ岡山にふさわしい自転車の利用を活かし、都心内の回遊性を高め、都心部での手軽な移動補助手段としての導入を目指す。過去2回行った社会実験の結果も踏まえ、今後の本格導入に向けて検証。

### 【利用実績】 ※12月31日現在

登録者数	306名(携帯利用のみ)
延べ利用回数	2,378回(携帯利用:1,573回)
1日平均利用回数	22回/日(携帯利用:13.4回/日)
回転率	0.22回/台・日
平均利用時間	90分/回(携帯利用:30分/回)

### 【評価】

○携帯による利用は、市民による通勤利用が多い。一方、県外利用者はクレジットカードを持たないケースが多く、現金支払いで利用している。  
 ○今後、ステーションを移設、増設する等、利便性を向上させる施策に取り組む。  
 ○本実験の結果を踏まえ、本格導入における課題を検証。

担当:岡山市都市整備局街路交通課 矢野・玉木  
 連絡先:086-803-1374  
 運営事業者:サイカパーキング(株)



《岡山市内中心部約1km圏内の主要駅、観光地、商業地付近にステーション設置》



《民有地を利用》



《ドイツ製自転車》



《ロックボックス付自転車》

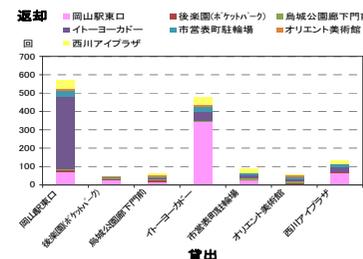


《市長試乗中》

【月別利用者数】



【ステーション間移動(携帯利用)】



# 東京都江戸川区【社会実験】

## Eサイクル ~ 自転車マナー向上宣言!! ~

自転車は環境に配慮し健康増進に役立つ身近な乗り物であることから、江戸川区では新たな自転車文化の創造を目指し、レンタサイクル社会実験を実施

### 社会実験の目的

1. 都市交通の一つとして、自転車の利用促進を図る。
2. 自動車からの利用転換を促進し、環境負荷の緩和、走行車両の減少を図る。
3. 自転車を共有することにより駐輪場の効率的な活用を図る。

### 実施概要

実施期間	期間	H21/9～(当初3駅。H23/7より2駅追加)
	運営時間	4:30～翌1:00
施設規模	自転車台数	590台
	ポート数	5箇所(駅駐輪場内)
料金体系		1,500円/月 ・ 100円/1日
初期登録	登録方法	身分証明書の写しを添えて、申請書記入
	登録場所	ポート窓口
管理	管理方法	係員常駐による有人管理
	貸出・返却	係員による台帳管理
	個人認証	登録カード
	料金收受	現金
機器	自転車車両	市販車(26インチ、オートライト)430台 再生自転車 160台

### 利用実績 (H23.10月実績)

登録者数	定期:525名 当日:9,394名
利用回数	25,669回/月
平均利用回数	828回/日
回転率	1.40回/台・日

### 実験の評価

- ◆1台のレンタサイクルの共有利用(シェアリング)により新たな駐輪場を整備することなく、自転車利用者数を増加させることができた。
- ◆H21年9月に葛西地区3駅で開始した社会実験も、H23年7月から2駅追加され現在は南部地区5駅にて実施中であり、江戸川区全域での実施や、ポート間のオンライン化による事務軽減が図れる管理システムの導入など検討中である。

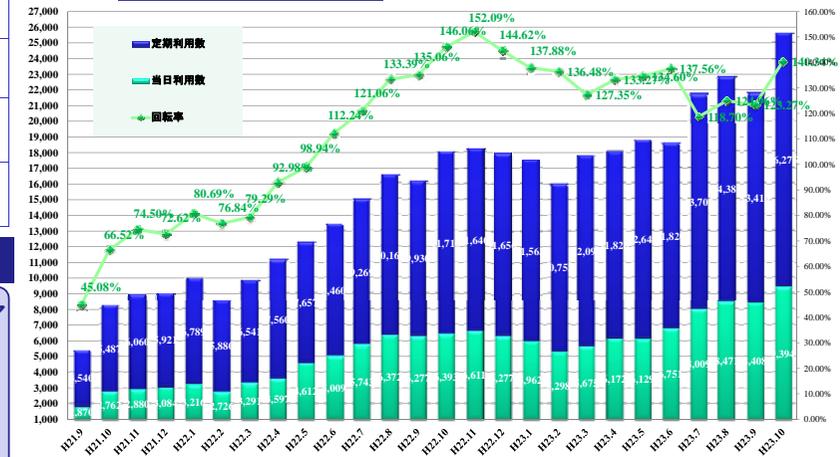
### 自転車の返却場所



### 各ポート周辺のご案内



### 利用状況推移



【西葛西駅ポート】



【利用風景】



# 大和市

## 大和市コミュニティサイクル社会実験

- 大和市中心部(大和駅～鶴間駅間エリア)に3ポートを配置したリサイクル自転車によるコミュニティサイクル社会実験
- 事業の周知を効果的に行うため、CP以外に登録受付を大和駅北口に設置

### 【実施概要】

実施期間	期間	H23 10/1(土)～11/30(水) 実施55日間(雨天中止6日間)
	運営時間	午前9時～午後5時 (貸出受付は午後4時まで)
施設規模	自転車台数	30台
	ポート数	3箇所
料金体系		無料(登録料、利用料金)
初期登録	登録方法	申込書記入、利用者カード発行
	登録場所	サイクルポートおよび大和駅北口受付(特設)
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	貸出・返却CPで台帳により管理
	集中管理	貸出・返却CPの相互で情報共有
	個人認証媒体	利用者カード
	料金収受	—
機器	自転車車両	・軽快車(前かご付き、後退式ハンドル) ・リサイクル ・24,26,27インチ、一部変速付き
	ラック	平置き
	その他	—

### 【目的】

- 想定したターゲット: 買い物、業務等
- 実施の目的や背景等: H23年3、4月の予備調査(大和駅周辺での1ポート)に続き、3ポートに増やして実施し、コミュニティサイクルの利用ニーズ、効果検証、コミュニティサイクルの周知を目的に実施した。

### 【利用実績】

登録者数	814名
延べ利用回数	1,708回
1日平均利用回数	31回/日(最大51回/日)
回転率	1.0回/台・日(最大1.7回/日)
平均利用時間	103分/回

### 【評価】

- 登録者のうち約7割が大和市民で、コミュニティサイクルが買い物や業務に幅広く活用された。11月平日には回転率は最大で1.7回/台・日に達した。
- 今後は導入推進に向け、ポート数の増加、機械化等を考慮して事業の継続を検討中。

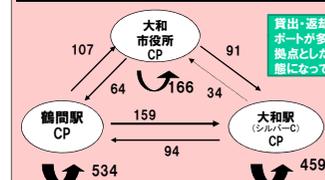
担当 : 大和市都市施設部 道路安全対策課(担当: 諸橋)  
連絡先: 046-260-5118  
運営事業者: アジア航測(株)社会基盤デザイン室



リサイクル自転車を活用しています



ポート間移動実態(10/1～11/30)





# 金沢市 (公共レンタサイクル「まちのり」)

- 市が設置する国内初の無人・個別ロック式システムとして、運営負担金を予算計上
- クレジットカードを使用し、初めの方でもわずか1分で利用可能
- ホテル等の有人窓口、まちのりサポーターなど、市民や民間企業との協働で実施

## 【実施概要】

実施期間	期間	平成24年3月24日(土)開始
	運営時間	貸出 7:30~22:30 返却 24時間可
施設規模	自転車台数	155台
	ポート数	18箇所+事務局
料金体系		1日基本料金 200円 1月基本料金 1,000円 1年基本料金 9,000円 追加料金 30分超ごとに200円
初期登録	登録方法	路上端末機(無人)、事務局
	登録場所	路上端末機、窓口等
管理	管理方法	無人・遠隔管理
	貸出・返却の管理	貸出:ICカード又はパスワード 返却:ラックに返却(自動)
	集中管理	自動データ送信等
	個人認証媒体	ICカード又はパスワード
	料金收受	無人:クレジットカード 有人:現金
機器	自転車車両	・小径車、新車 ・20インチ、内装3段変速 ・自動ライト点灯、前カゴ
	ラック	個別電磁ロック式
	その他	路上端末機 (利用手続き、利用履歴確認、 精算書発行、ポート満空等)

## 【目的等】

- (目的)・来街者の2次交通の充実  
・市民の日常の足としての都市内交通の充実
- (背景)・平成22年度に社会実験を実施  
・平成26年度に北陸新幹線が開業予定

## 【利用実績(※平成22年度実験結果)】

登録者数	6,230件
延べ利用回数	21,622回
1日平均利用回数	354.5回/日
回転率	3.55回/台・日
平均利用時間	15分/回
自転車台数	100台
ポート数	10箇所
その他	有人管理(紙媒体)

## 【今後の課題】

- 市負担金の減少(持続可能性の向上)
- ルール・マナーの向上
- 自転車通行指導帯など通行空間の確保

担当 : 金沢市歩ける環境推進課 小村、中山  
連絡先: 076-220-2371  
運営事業者: (株)日本海コンサルタント 片岸、井上、五島

## ■ サイクルポートマップ

全18カ所



- |         |               |
|---------|---------------|
| 1 金沢駅   | ANAクラウンプラザホテル |
| 2 武蔵    | 駐輪場内          |
| 3 十間町   | 駐輪場内          |
| 4 玉川町   | 玉川こども図書館      |
| 5 高岡町   | 金沢市文化ホール      |
| 6 尾山町   | 尾山神社横         |
| 7 香林坊   | 中央公園横         |
| 8 長町    | 中央公民館長町簡構     |
| 9 片町    | ラブリ           |
| 10 にし茶屋 |               |
| 11 野町駅  | 駅構内           |
| 12 堅町   |               |
| 13 本多町  | ローソン本多町3丁目店   |
| 14 広坂   | 21世紀美術館       |
| 15 兼六園  | 桜ヶ岡口横         |
| 16 兼六園下 | 兼六園下駐輪場内      |
| 17 尾張町  | 金沢藩音楽館        |
| 18 東山   | 交番横           |

.....: 自転車走行指導帯設置済み路線(L≒3km)



ポート設置イメージ図(長町)



# 堺市 さかいコミュニティサイクル

- 自動車利用中心から公共交通や自転車利用中心へ都市構造を変革する取組み
- 4か所の駅前サイクルポートを整備し、H22年9月に本格運営開始
- 地場産業である堺製の自転車を使用
- 自転車の空き情報とバス時刻表等を表示する液晶端末パネルを駅改札前に設置

## 【実施概要】

実施内容	運営開始	H22年9月
	運営時間	6:00~25:00 (ポートにより若干異なる)
施設規模	自転車台数	450台
	ポート数	4箇所
料金体系		登録料なし(専用ICカードは貸与)、 デポジットなし、1日利用300円(電動400円)、 定期利用一般2,000円/月、学生等1,600円/月など
初期登録	登録方法	申込書記入、専用ICカード発行
	登録場所	すべてのポート窓口
管理	管理方法	有人管理(6:00~21:00)、以後25:00までは無人管理
	貸出・返却の管理	自転車附带のICタグと専用ICカードで認証
	集中管理	システムデータは24時間集中管理
	個人認証媒体	専用ICカード
	料金收受	現金(更新機に入金)
機器	自転車車両	・軽快車(一般仕様310台・ノーパンク仕様100台)／電動アシスト40台 ・新車 武田自転車／サンヨー製 ・一般24インチ・ノーパンク26インチ、 3段変速／26インチ、3段変速 ※幼児用座席付軽快車有り(8台)
	ラック	平置き(ゲート方式)
	その他	コミュニティサイクル・バス情報システム(駅端末パネル・WEBシステム)

## 【利用実績】(H22年9月~H23年11月)

延べ登録者数	4568名
延べ利用回数	48891回
1日平均利用回数 (H23年11月利用分)	187回/日 (5608回/30日)
回転率 (H23年11月利用分)	0.42回/台・日 (5608回/450台・30日)
平均利用時間	122分/回 (利用者アンケートによる)

## 【評価、課題等】

- 利用者の評判はおおむね良好
- 利用者数は運用当初から右肩上がりの増加傾向であるが、まだ十分とはいえない
- 企業、学校等への営業活動で利用促進
- 多様なニーズに対応できるようにノーパンク自転車や幼児用座席付自転車等の貸出も開始
- H23年9月末から全庁的に公務利用の試行実施
- 電磁ロック型のまちなかサイクルポートの拡充を予定(平成23年度 2か所 市役所周辺・阪堺線沿線)

担当 : 堺市 建設局 自転車まちづくり推進室  
自転車まちづくり担当 (担当 竹内)  
運営受託者: センターパーキング堺  
(代表団体: (財)自転車駐車場整備センター)  
(構成団体: (株)駐輪サービス  
奈交サービス(株))



堺東駅前サイクルポート  
の出入りロケート



すべて国内メーカー製部品  
を使用した堺製自転車



専用ICカード



コミュニティサイクル・バス情報  
システム端末パネル(南海堺  
駅・堺東駅、JR堺市駅)

# 松山市 (仮称)道後モビリティ・センター

○観光客に対して、公共交通の利便性に劣る地域(観光地)への観光回遊手段の提供だけでなく、コミュニケーション、休憩空間(モビリティ・カフェ、足湯等)を提供することを想定。

## 【実施概要】 ※H22低炭素地域づくり面的対策推進事業

実施期間	期間	H22/10/30(土)~12/19(日) 電動アシスト付自転車:51日間 EV:土、日の16日間
	運営時間	9:30~16:30
施設規模	自転車台数	10台
	ポート数	1箇所(道後観光案内所) ※観光レンタサイクルは4箇所
	EV台数	2台
	ポート数	1箇所(冠山駐車場)
料金体系		無料
初期登録	登録方法	事前予約または当日申込。当日申込書記入。
	登録場所	窓口
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	スタッフが事務所で管理
	集中管理	事務所で管理
	個人認証媒体	運転免許証他身分証明者
	料金收受	なし
機器	自転車車両	電動アシスト、新車(パナソニック)
	ラック	なし
	EV車両	三菱i-MiEV 軽電気自動車

## 【目的】

- 想定したターゲット:観光
- 実施の目的や背景等:公共交通の利便性に劣る地域(観光地)を中心とした観光回遊手段の提供。コミュニケーション、休憩空間の提供 など。

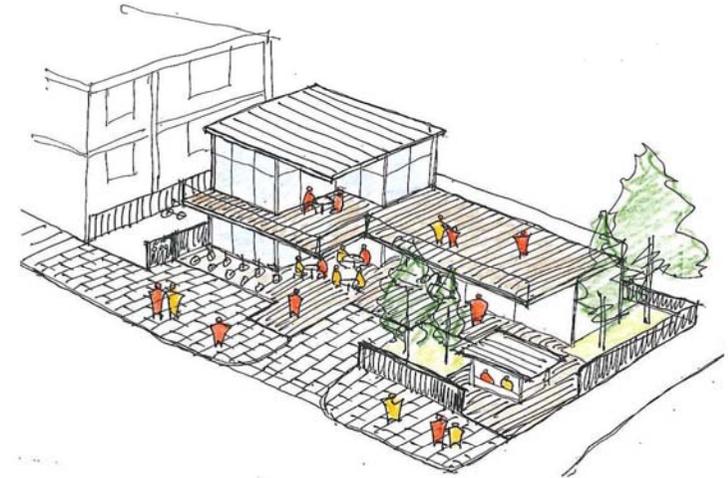
## 【利用実績】 ※H22低炭素地域づくり面的対策推進事業

	電動アシスト付自転車	EV
登録者数	94組	28組
延べ利用回数	94回	28回
1日平均利用回数	1.8回/日	1.8回/日
回転率	0.2回/台・日	0.9回/台・日
平均利用時間	47分/回	93分/回

## 【評価】

- 県外からの観光客の利用が中心。  
より県外観光客の利便性を向上させるためには、松山空港やJR松山駅など複数箇所にEV貸出ポートの設置検討が必要。
- EVカーシェアリングなどの利用には共通インターフェイスを用いることを想定。  
モビリティ・カフェなどの機能も導入を検討。

担当 : 松山市都市政策課 石井  
連絡先 : 089-948-6462  
運営事業者: 道後温泉旅館協同組合



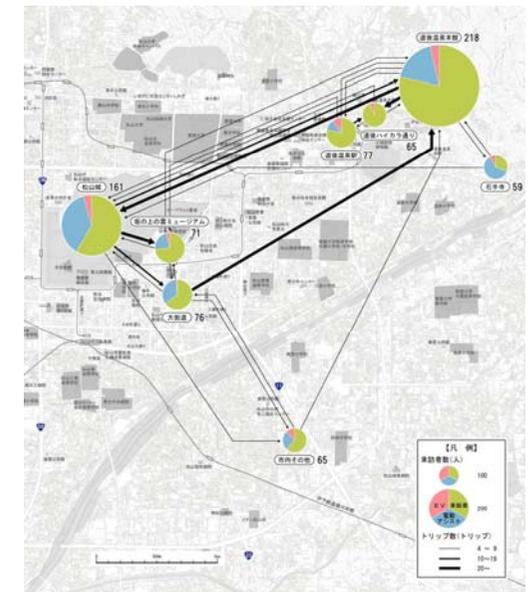
モビリティセンター(案) イメージスケッチ



電動アシスト付サイクルポート



EVポート



モニター一周遊実態図



# 下関市【社会実験】 ちょいのり・サイクル



- 中心市街地における市民や来訪者の円滑で効率的な移動性の確保・回遊性の向上が目的
- 車両に対する施策と併せて、交通円滑化（まちナビ）事業の一環として展開
- 下関市中心市街地活性化基本計画や“サイクルタウン下関構想”にも寄与
- 導入の可能性を検討するため、無料・有人管理の簡易方式で社会実験を実施



## 【実験概要】

実施期間	期間	H23 7/11（月）～8/10（水） 計29日間（2日間中止）
	運営時間	7:00～19:00 （最終受付は18:30）
施設規模	自転車台数	50台
	ポート数	5箇所 （うち無人の返却専用が2箇所）
料金体系		登録料・利用料ともに無料
初期登録	登録方法	申込書記入、身分証明書提示、 登録証発行
	登録場所	有人ポート3箇所
管理	管理方法	有人管理
	貸出・返却の管理	登録証・台帳への記入
	集中管理	ポートスタッフが本部へ連絡
機器	個人認証媒体	登録証、身分証明書
	自転車車両	シティサイクル（新車・26インチ・変速機無し・カゴ付き）
	ラック	単管パイプで仮囲い、平置き

## 【特徴】

- エリア：業務・商業機能の集積する中心市街地
- ポート：返却専用ポート→利用は低調  
ポート間の距離→最長約2km
- 対象者：13歳以上（居住地問わず）
- 利用時間：通勤等による長時間の自転車独占を避けるため、平日の1回あたりの利用時間を概ね3時間に制限。  
（休日は時間制限無し。）

## 【利用実績】

登録者数	752名
述べ利用回数	1,835回
1日平均利用回数	63.3回/日
回転率	1.27回

## 【課題・今後の展開】

- 広報等を充実させ、利用率の更なる向上
- 利用者への“回遊性向上に資する情報”の提供
- 自転車のルール・マナーの啓発
- 導入を見据え、長期・有料・無人システムによる社会実験の実施を検討
- 官民連携による事業展開



▽ポート設置の様子



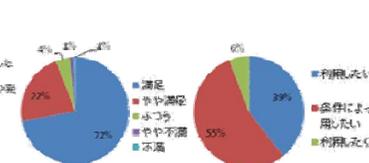
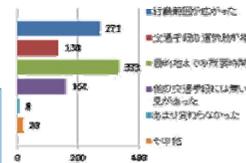
▽登録受付の様子



▽登録証



▽自転車専用レーンを走行



担当：下関市都市整備部都市計画課 まちづくり係  
連絡先：083-231-1225



# 鹿児島市【社会実験】

## かごしまコミュニティサイクル(ecoちやり)

- 自転車利用の促進による①温室効果ガス排出量の削減、②市民や観光客の回遊性を高めることによる、中心市街地活性化や観光の魅力アップを目的として実施
- 利用ニーズや導入効果を把握するとともに、鹿児島市にふさわしいシステムのあり方について検討

### 【実験の実施概要】

実施期間	期間	10/5(水)~11/13(日) 計40日間
	運営時間	9:00~18:00 (最終貸出時間17:30)
施設規模	自転車台数	70台
	ポート数	7箇所
料金体系	登録料金	《登録料金》 1日利用:200円 定期利用:1,000円
	利用料金	《利用料金》 30分まで無料 以降120分までは100円/30分 120分を超えると1,000円/h
初期登録	登録方法	申込書に記入し、会員証発行
	登録場所	サイクルポート(7ヶ所)
管理	管理方法	管理員常駐
	貸出・返却の管理	台帳管理
	個人認証媒体	会員証(紙カード)
	料金収受	現金
機器	自転車車両	市販車(26インチ、3段変速)
	ラック	平置き

### 【利用実績】

登録者数	1,205名
延べ利用回数	3,091回
回転率	1.10回/台・日

### 【実験の評価】

- 1日利用では観光目的が最も多く、次いで買い物、業務の順、定期利用では業務目的が最も多く、次いで通勤通学、買い物の順であった。
- 自動車からの乗換えは限定的で、バス・路面電車からの乗換えが多かったものの、従来の公共交通網ではカバーできていなかったポート間移動も確認された。
- 行動範囲の拡大や立寄り施設の増加といった街の活性化や、地域振興に資する行動変化に加え、新たな交通手段として多様な評価が得られた。
- 今後は持続的なシステムとするための課題を整理し、鹿児島市にふさわしいコミュニティサイクルのあり方について検討を行っていく予定。

図 登録者の居住地

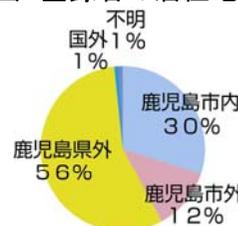
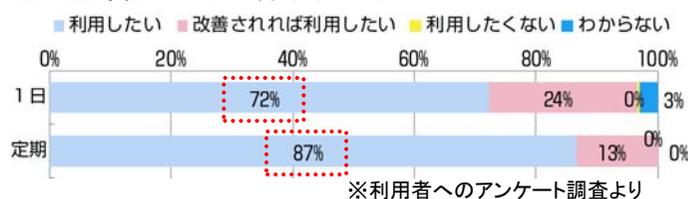


図 登録種別ごとの将来利用意向



中心市街地の交通結節点や観光拠点を中心にサイクルポートを配置



サイクルポート(公共用地)



サイクルポート(公共施設)



サイクルポート(道路用地)



自転車

実施主体:鹿児島市環境局環境部環境政策課(TEL:099-216-1296)  
運営主体:社団法人 日本交通計画協会